

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和2年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市どうぶつ公園協会
団体に対するミッション	
「到津の森公園」「ひびき動物ワールド」の指定管理者として、管理・運営事業を通じ、健康で豊かな市民生活の実現、都市機能の増進、自然環境教育を推進する。	

所管課	建設局 公園管理課
行財政改革大綱における見直し内容	
平成26年度から、到津の森公園の指定管理業務に特化した団体として、これまで以上に組織をスリム化し、安定経営に努めるとともに、動物園を運営する団体として、市民に分かりやすい名称に変更する。	

ミッションに基づく中期計画									
3～5年後に目指す状態	「到津の森公園」「ひびき動物ワールド」の指定管理者として、管理・運営事業を通じ、健康で豊かな市民生活の実現、都市機能の増進、自然環境教育を推進しながら、入園者数の増加（令和5年度までに39万人）を目指す。								
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）								
	H28	H29	H30	R1	R2		R3	R4	
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標	
どうぶつ公園協会の収支均衡	△12,979千円	30,983千円	△109,582千円	21,510千円	指定期間(R1～R5年度)での収支赤字 △6,642千円	△6,642千円	指定期間(R1～R5年度)での収支赤字	指定期間(R1～R5年度)での収支赤字	
動物種数・飼育頭数	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点	90種 480点	90種 480点	
動物サポーター・到津の森公園基金の園内での支援勧誘活動・理事長等による支援受入金額	年4回 296万円	年5回 558万円	年3回 473万円	年3回 350万円	年3回 180万円	年3回 155万円	年3回 150万円	年3回 150万円	
学習プログラム受入校数、参加人数	48校 4,008人	51校 4,328人	45校 3,435人	50校 4,189人	40校 3,000人	40校 3,307人	40校 3,000人	40校 3,000人	

ミッションの遂行状況の評価（令和2年度）			
団体における評価	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休園、イベントの中止、団体客のキャンセル等の影響を受け、入園者数や入園料収入等が減少し、目標を達成できなかった指標もあるが、来園者の満足度、学習プログラムの受入数等は目標を達成しており、コロナ禍の影響を最小限度に止めることができた。	市の評価	新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休園等により、入園者数が目標値を下回っているほか、入園料収入等の減少により収支赤字となっている。 しかし、イベントの中止、団体客のキャンセル等の影響を受けたのにも関わらず、来園者の満足度や学習プログラムの受入数等は目標を達成していることから、コロナ禍の影響を最小限に止めることができ、想定どおりの成果があったと評価できる。
	今後の課題及び見直し内容（案）		新型コロナウイルス感染防止対策を継続しながら、観覧車の再稼働をはじめ、遊具広場の充実を図るとともに、園内の環境整備を積極的に進め、また、SNS等を活用した広報活動を充実させ、多くの市民、近隣住民及び観光客の来園と収入増に繋げることとする。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	事業範囲を見直す団体
北九州市行財政改革推進計画に掲載された内容の取組は完了。 ・ H26. 3. 31で響灘緑地の指定管理業務を終了した。 ・ 到津の森公園の管理業務に特化した団体として組織体制及び職員配置を見直し、H26. 4. 1付けで市民に分かりやすい名称として「北九州市どうぶつ公園協会」へ名称変更した。	